

# 『時事直言』 No.1821 2026年8月5日 国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] t\_masuda2019/

[instagram] t.masuda2026

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

## 1ドル 200 円！

1ドル 160.73 円まで円安が続き、161 円に接近してきた 4 月 30 日に政府・日銀は介入、その後連休前と連休中に連続で合計 11.7 兆円規模の介入を行った。

その結果円は 155.50 円まで上昇したが、以後円安が続き、1ドル 163.99 円まで下がり 164 円に接近してきた 7 月 31 日、日米協調介入が実施され 8 月 3 日に追加介入があり、結果 8-9 円高の 155.5 円まで円高になったが現在は 157 円の後半から 158 円に向かっている。

前は円高の期間が長かったが、今回は円安への戻りが早い。

(介入効果が短くなっている)

為替介入は一時的に痛みを止めるカンフル剤と同じで、痛みの原因である病に効く薬ではない。

協調介入をしたアメリカ財務省の長官ベッセント氏は「介入ではなく政策でなくては一時的で終わってしまう」と述べているが正論である。

ベッセント氏は小手先の金融政策ではなく、財政政策で日本経済を高成長に向かわせなくてはならないと言っているのである。

高市首相は日本の GDP 目標 1,000 兆円を掲げ、責任ある積極財政とその柱となる官民 370 兆円の 17 分野成長戦略を打ち出した。

円安病を治す薬としては最高の戦略ではないか。

では何故この良薬が効かないのか。

実は高市首相の言う「責任ある」という GDP 比を上回らない国債発行などあり得ないことが明白になってきたからである。

2025 年の GDP は成長率 0.8% の 662 兆円で国債発行額 28.6 兆円(4.3%)、2026 年の GDP(予想)は成長率 0.8% の 681 兆円、同率の国債発行額は 29.3 兆円となり 7,000 億円の増額。

17 分野成長戦略投資する官民 370 兆円の為に(国家)が呼び水として投資する額は 21 から 30 兆円である。

積極財政、成長戦略を断念しないで敢行するなら国の責任投資額(借金)は国債に依存せざるを得ない、つまり財政悪化

市場は正直で、新発 10 年物国債の利回りは 30 年ぶりの高水準 2.8% になり、さらに上昇中である。

金利上昇で国債利払いは雪だるま式に増加、増々財政悪化、、、これでは円は買えない。

従って財務省には円安病を治す良薬はない！

病気が治らないことを承知の上でカンフル剤を飲み続けるから病気は悪化の一途。

高市政権が 30 兆円の国債を発行して(借金をして)民間投資を呼び込み 17 分野への具体的投資が始まるのは早くも 2027 年の今頃(夏)だろう。

日本の経済成長が目に見えて始動すれば円安の流れが止まり円高に変わる。

2027 年 5 月までは円安が続き 1ドル 180-200 円だが 8 月から一転円高、急速に 130 円に向かうだろう。

詳しくは小冊子 Vol.160 をお読みください。

又株と FX(外国為替取引)で儲けたい方は増田塾に入会、驚くべき実績を誇る「本日の株式指南」と「本日の国際情勢」で勉強して下さい。

### **先行受付中！増田俊男の小冊子 Vol.160**

#### **『戦争時代の生き方、儲け方』**

現在増田俊男の小冊子 Vol. 160 は**先行受付中**です。

内容は、はじめに **戦争の時代は儲かる！** 第 1 章 **憎まれっ子のトランプはアメリカの救世主か？！** 第 2 章 **戦争バブルと経済バブル** 第 3 章 **高市政権で変わる経済と安全保障**

**終わりに お金儲けのお話し**です。価格は、**1冊 5,800 円(送料別)**。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/> ) まで

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。